

産山発 未来へ

文責 校長 井 正成



学園 HP も随時更新中です

《学校教育目標》

ふるさとを誇りとし 夢や目標に向かって 主体的に考え行動する 学園生の育成

中体連大会 ～成果と課題を今後に生かしていくように～

6月21日(土)と22日(日)に令和7年度阿蘇郡市中体連体育大会が行われました。本校からは、野球部とバドミントン部の子ども達が参加し、これまでの練習してきた成果を精一杯発揮しました。

野球競技は阿蘇郡市内から4チームが参加して、トーナメント方式で行われました。学校単独での参加は産山学園を含めて2チームのみで、2チームは学校合同チームでの参加でした。学校単独で参加できたことが、まずは評価すべきことだと思いました。初戦は、3校の中学校合同チームとの対戦でした。初回に1点を先制されたものの、その後は、ねばり強い戦いぶりで、1点を争う緊張感のある接戦となりました。しかし、終盤に追加点を許し、その後1点を返したものの、1-4で敗れました。敗れはしましたが、合同チーム相手に最後まであきらめない清々しく堂々とした戦いぶりでした。

バドミントン競技では、男女の団体戦・個人戦で、子ども達は、真剣にシャトルを追い、最後まで諦めずに粘り強く戦いました。団体戦では男子が3位、個人戦ではダブルスの部で3位となり、これまでの成果が見事に結果に結びつきました。

9年生にとっては、最後の大会となりました。部活動を通して感じたいろいろな思いを、これから進路選択やその先の人生にプラスの力として生かしていくってくれるものと思います。

今後は、8年生以下を中心とした活動となります。次の大会・来年度の中体連大会に向け、新たな目標を持って今後の練習に取り組んでくれるものと期待しています。



本年度より「産山型部活動(ヒゴタイ・スポーツクラブ)」として新たな形に

中学校部活動は、段階的に地域移行をすすめていくことになっています。

地域移行の背景として、教員の負担軽減(教育活動で専念できる環境づくり)、学校単位の部活動継続が困難になっていること(少子化の影響)、地域社会の活性化や生涯スポーツ・文化活動の推進との連動への期待、などが挙げられます。その一方で、指導者の確保、安全管理や保険制度の整備、費用負担への理解、移行期の学校と地域の役割分担の明確化などが課題として挙げられます。

産山村でも、本年度より、4年生から9年生を対象とした地域移行型の「産山型部活動(ヒゴタイ・スポーツクラブ)」の取組を始めました。子供たちの指導は、4~6年に対しては地域の方が、7~9年生に対しては学校の教職員が行っています。また、活動費として毎月1000円を徴収しています。

(裏面に続く)

新たな形としてスタートし3ヶ月が経過し、現時点では保護者の皆様のご理解と地域の指導者の方のご協力があって、少しずつ軌道にのりつつあります。

これまで、子供たちの部活動の指導は学校の教職員が担ってきましたが、地域移行という流れの中で、子供たちがスポーツに親しむことができる環境を整備していくためには、保護者の皆様の理解と地域の指導者の確保が必要です。現在、6名の地域の方に4~6年生の指導をしていただいている。地域指導者の方には、お仕事がある中に時間を割いて子ども達のために指導をしていただいていることに心より感謝しております。この指導者の継続的な確保が今後の大きな課題でもあります。

是非、みなさんのご理解とご協力のもと、ヒゴタイ・スポーツクラブの活動を支えていただければと思います。

7月から8月にかけての主な行事予定

- 7月 3日(木)…阿蘇教育事務所学校訪問(午前) ※1~4年生は10:30下校
阿蘇郡教育委員会連絡協議会指定「学力向上推進地域」研究発表会(13:20~16:30)
- 7月16日(水)…給食試食会、授業参観、救急救命法講習、PTA 例会
 - ・給食試食会(事前申込者のみ) 12:10~
 - ・授業参観 13:45~
 - ・救急救命法講習 14:40~
 - ・PTA 例会 15:40~
- 7月19日(土)~8月27日(水)…夏季休業日
- 7月22日(火)~24日(木)…教育相談、9年生三者面談
- 7月29日(火)…海山交流参加(午後から5~6年生参加)
※28日(月)から30日(水)まで○○小5~6年生の子供たちが来村します
- 8月 2日(土)…ヒゴタイ祭り(ヒゴタイ太鼓に参加)
- 8月 3日(日)~23日(土)…ヒゴタイ交流(8~9年生4名がタイ国カセサート校での交流に参加)

※行事等の詳細は、学校からの通知でご確認願います。

※学校での諸活動の様子は学校ホームページに掲載し、随時更新していますのでご覧ください。

(表面上部の QR コードをご利用ください)